じをみつめる 第その三十

ためのヒントとなりますように・・・。 ただくコーナーです。 北九州市内・ 近郊の寺院の僧侶にお言葉をい 老後を心豊かに生きる



柔らかい心

ており、 がっています。 にあり、 円通寺は北九州市小倉北区の足立山麓 いつも聞こえてきます。 をしております、林慧照と申します。 皆様、こんにちは。円通寺の副住職 子どもたちの楽しそうな声が 境内の裏には豊かな自然が広 隣には幼稚園を経営し

ます。 くいものです。 柔らかいと疲れにくいし、怪我もしに 私もやらないといけないと思いつつ、 体操などをされていますでしょうか。 つい無理をして肩や腰を痛めてしまい 突然ですが皆様は体のストレッチや 体の柔軟さは大事ですね。 体が

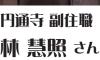
した。 は幼稚園に通うお子さん方から学びま 体の柔軟さと同じくらい大切なの 心の柔らかさだと思います。これ 小さなお子さんは、本当に自由

らない」という考えにとらわれて、

な

のを二つご紹介しましょう。 ドがたくさんありますが、 な発想ができますね。 面白いエピソー 印象深いも

います。 持ち、そして周りにある物を手に取っ 草だって立派なお供えです。お地蔵さ だなぁ」と思ってしまいます。 が置かれていると「子どものいたずら うな先入観がありますので、 あるいはお賽銭などでしょう。そのよ 利と草です。普通ですとお茶や果物 なお供え物がしてあります。それは砂 す。 てお供えする自由さ、素晴らしいと思 んに何か差し上げたいという純粋な気 しかしよく考えてみますと、 一つ目は、 私などは「こうでなければな 境内のお地蔵さんに不思議 お地蔵さんへのお供えで 砂利や草 砂利や





黄檗宗

北九州市小倉北区妙見町 1-30 093-921-4004

かなか子どものようにはいきません。

ず、

純粋な気持ちで手を合わせてお参

りしていたのでしょう。

ド

いかがでしたでしょうか。この自

子どもたちの微笑ましいエピソ

といいます。清らかな水のような心で 由な心を「柔軟心(にゅうなんしん)」

逆に心が固まっていると、氷と氷

いです。 り口で待っていたお母さんは「教えた はお墓を通って帰ることになります。 ていました。 わけではないんですけど、この子は にお参りしているのです。 とひとつだけではなくて、 間ですので、車でお迎えに来られた方 かあります。 つもお参りして帰るんですよ」と仰っ で合掌して頭を下げていました。なん 二つ目のエピソードもとても興味深 ある日、とあるお子さんがお墓の前 境内の裏には、 そこは幼稚園と駐車場 お墓がいくつ 全部のお墓 駐車場の入

このお子さんはそんな枠にとらわれ 関係のあるお墓だけ、 お 盆の時くらいでしょうか。 普通ならばお参りするのは、 それもご命日や 一方で、 自分に

合掌

ものですね。

子どものような柔らかい心でありたい

で衝突してしまいます。私たち大人も.